

2-4 認知症介護指導者としてのその他の活動

認知症介護指導者チームによる地域貢献

～世田谷認知症介護指導者会(通称:せたにん)の取組み～(東京都世田谷区)



【活動の概要】 近隣指導者7名により、地域の専門職向け研修、認知症疾患医療センターにおける多職種協働研修への協力、FMせたがやでの情報提供などをはじめとして、地域において、認知症の人を支えるための研修や啓発活動を実施。地域の様々な立場の人達からの要望に応じて、認知症の人の支援につながる活動を展開

取組みのきっかけ・背景

世田谷に認知症介護指導者が複数人存在していることから、地域貢献活動ができないかと、考えていたところ、地域の福祉関係の研修センターより、研修講師依頼があったことをきっかけとして、認知症介護指導者3名で「世田谷認知症介護指導者会」を立ち上げて活動を開始。H28.9月現在は指導者が4名増え7名で活動を展開している。

取組みの発展と成果

- 世田谷区福祉人材センター研修室主催の「認知症ケア研修」において、認知症の人の関わり方や若年認知症の人の支援、事例検討などを担当。
- 認知症疾患医療センターにける研修を年2回担当し、包括やケアマネ、デイサービス等の事業所の人材育成を支援。
- FMせたがや(83.4MH)ラジオ出演。「認知症あんしんすこやかライフ」という、区の提供による認知症に関する情報のスポット番組を担当。
- せたがや介護の日にシンポジストとして登壇。
- その他、他市区町村で開催される認知症に関連する講師を担当したり、他事業所で開催されたサービス担当者会議に出席したり、認知症家族会のファシリテーターを担当したりなど、ニーズに応じて活動が展開できるように発展してきている。
- ホームページを運営することにより活動や地域貢献の意思をアピール

- ラジオ出演では、「せたにん」について詳しく知る企画を立ててもらえたり、せたにん発信の企画を相談されたりなど、信頼を得て活動が充実してきている。
- H28.6月より、「おしゃべり そうだん まなびのば」を開催。地域の有料老人ホームで、地域包括支援センターの協力を得て、認知症の当事者、家族、専門職を含め、どんなことでも話せる、相談できる、学べる集いの場の活動を、2か月に1回に開催しはじめるとともに、更に活動を広げている